

12. 非常時におけるツイッターのはたらき

授業のねらい

東日本大震災発生後、被災地のマスメディアはツイッターによって人々の生活を支える情報や被災情報を発信したことを知らせ、非常時におけるツイッターの働きの良さに気付かせる。

授業の価値

東日本大震災をきっかけにして、ツイッターをはじめとするソーシャルメディアが、非常時の連絡手段として有用であることが注目され始めた。一方、ツイッター利用者の7割強は30歳代以上の世代だと言われている。特に子どもには、ツイッターは単なる「コミュニケーションツール」「遊び道具」という一面的な印象が定着していて、例えば、実際につぶやきをていねいに読んだ経験はほとんどもっていない。

そこで、停電等が発生しても携帯電話さえ使うことができれば、比較的安定して情報の送受信ができるツイッターなどのソーシャルメディアの良さについて、非常時のメディア活用に備えて子どもにも教えることが必要であると考えている。

この授業では、東日本大震災に際して人々の生活を実際に支えた、IBC 岩手放送のつぶやきの内容をじっくり読み取らせる。そのことによって、ツイッターの良さに気付かせたり、いかなる時でもより多くの人へ速く正確に分かりやすく情報を伝えようとするマスメディア関係者の思いを実感させたりしながら、授業を進める。

教科・領域等

特別活動・総合的な学習の時間・社会科（第5学年）

対象学年

小学校第5学年～第6学年

活用する資料

岩手放送のツイッタータイムライン（2011年3月11日～10日間程度の期間）の一部、マスメディアのツイッターのフォロワー数が大地震後急激に増えたことを示す調査結果（グラフ）、ツイッターの信頼度の高さを示す意識調査結果（グラフ）

● 授業の展開

	学習活動	指導上の留意点
5分	<p>1. ツイッターについて知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ツイッターを知っていますか。 ＜予想される反応＞ ・知っている。・お父さんがやっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・140文字以内の「つぶやき」をコンピュータやケータイで入力しながら、複数の人でつぶやきあったり見合ったりするサービスであること、画面上では新しいつぶやきがどんどん上へ加わっていくことなどを押さえる。
35分	<p>◎ 学習課題 岩手放送のツイッターのつぶやきを読んでみよう。</p> <p>2. 大地震発生前後の岩手放送のツイートを読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大地震が発生したのはどの時間でしょう。 ＜予想される反応＞ ・ここそここの間。日常の話題から急に津波情報に変わっているから。 ● 何が書いてありましたか。 ＜予想される反応＞ ・通行止め情報・停電情報・安否情報 ・救援物資などの生活に必要な情報 ● これらのつぶやきは、被災地の人にとってどんな意味がありますか。被災地以外の人にとってはどんな意味がありますか。 ＜予想される反応＞ ・被災地の人…生活に必要な ・被災地以外の人…被災地の状況が分かる。 <p>3. マスメディアがツイッターで発信する目的を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 番組を放送するのが仕事のテレビ局が、ツイッターでも情報を伝える理由は何でしょう。 ＜予想される反応＞ ・できるだけたくさんの人に情報を伝えたい。 ● グラフから分かることを言いましょう。 ＜予想される反応＞ ・フォローする人が増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2011年3月11日大地震発生前から発生後のツイートの一部を提示しながら、何がつぶやかれているかを確認させる。 ・発言した児童にそう思った理由を質問し、ツイートの内容が日常の話題から非常時の情報提供に切り替わっていることに気付かせる。 ・3月11日のその後、3月12日、3月14日のツイート（一部）をそれぞれ提示し、じっくり読ませた後、読み取ったことを言わせる。 ・大地震後の情報を伝えるツイートの内容を整理し、被災地の人、被災地以外の人にとっての意味を、それぞれ考えやすくする。 ・放送局のツイートであることを押さえた後、マスメディアがツイッターで発信する意味について考えさせる。 ・3月21日のツイート（一部）から、番組の宣伝と共にそれまでと同様な支援情報も伝えていることを確認し、より多くの人へ伝えるというマスメディアの役目を果たすためにツイッターが使われていることに気付かせる。 ・マスメディアのツイッターのフォロー数を表すグラフを提示して大地震後急激に増えたことを知らせたり、ツイッターの非常時における信頼度の高さを示す調査結果を提示したりして、その有用性について確認させる。
5分	<p>4. 非常時におけるツイッターの働きや良さをまとめる。</p> <p>まとめ 岩手放送は、非常時にツイッターを使って、より多くの人へ速く正確に分かりやすい情報を伝えようと、生活を支援する情報を発信し続けた。多くの人々がフォローした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ツイッターは、非常時に強いメディアとして注目されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ツイッターは、停電等が発生しても携帯電話さえ使うことができれば、情報の送受信を安定して行うことができるメディアであること、非常時に強いメディアとして注目されていることなどを説明し、本時のまとめをする。

● 発問 □ 指示 ○ 説明